



第15回関西ファンデー

■3月3日、大阪市の京セラドームで開催されました。当日は、本市特産品の焼酎やさつま揚げなどのブースが設けられ、多くの人でにぎわいました。



生産者との農業体験学習

■3月7日、別府中学校の1年生の生徒が旧枕崎空港周辺の畑で、農業体験学習を行いました。参加した生徒は、地元生産者が育てた大根と人参を収穫しました。



ピカソっ子絵画作品展

■3月13日から31日までの期間、南浜館で開催されました。障がいのある子どもたちが描いた絵画作品約100点が展示され、多くの来場者がありました。



まくらぎ春の市

■3月17日、枕崎内港の水揚げ場で開催されました。会場には特産品が一堂に集まったほか、市内小学校6年生による「超ロング鰹のり巻き作りチャレンジ」などもあり、会場は賑わいました。



100歳おめでとうございます

～奥秀吉さん、松崎ヒナさん、宮路ナツ子さん、茶屋道ミルさん

3月は4名の方がめでたく100歳の誕生日を迎え、市と社会福祉協議会から花束と祝い金が贈られました。

1 奥秀吉さん(寿町・3月1日)

奥さんは坊津生まれで、若い頃は大阪で船の部品を作る仕事をしていました。趣味はテレビを見たり漫画を読むことで、現在入所している施設では、音楽隊を結成してハンドベルに参加しているそうです。

長生きの秘訣は「よく食べて運動をすること」と話します。

2 松崎ヒナさん(下松町・3月1日)

松崎さんは知覧生まれで、娘4人、息子2人の6人の子どもに恵まれました。若い頃は鉱山関係の仕事をしていました。料理を作るのが好きで、料理教室に通って勉強し、身近な人に色々な料理を振る舞っていたそうです。

長生きの秘訣は「好き嫌いをせず色々なものを食べていたこと」と話します。

3 宮路ナツ子さん(立神本町・3月10日)

宮路さんは枕崎出身で、市場の仕事や日雇いの仕事をしながら娘3人、息子3人の6人の子どもを育てました。

長生きの秘訣は「くよくよせず、愚痴を言わないこと」と話します。

4 茶屋道ミルさん(恵比須町・3月16日)

茶屋道さんは枕崎出身で、若い頃はいごやで働いており、2人の子どもに恵まれました。趣味は特にないそうですが、裁縫はしていたそうです。

長生きの秘訣は「昔患った病気を薬などで治したこと」と話します。

皆さん、これからも元気で長生きしてください。

中川路さんが事務次官賞、前田さんが最優秀賞を受賞 ～平成30年度土砂災害防止に関する絵画コンクール

土砂災害防止月間にあわせて国土交通省が募集する平成30年度土砂災害防止に関する絵画コンクールで、全国6,879点の応募の中から中川路方緑さん(桜山小4年、写真左)の作品が国土交通事務次官賞を、前田夏月さん(桜山小6年、写真右)の作品が鹿児島県知事表彰最優秀賞を受賞しました。

中川路さんは「土砂災害になった時のことを思いながら描きました。賞をもらえてうれしかったです」と話し、前田さんは「いつ来るか分からない災害からどのように避難すればいいか考えながら描きました。一生懸命描いてよかったです」と話してくれました。



難関試験を突破し国家公務員に ～鹿児島水産高校専攻科1年生の生徒6名が就職

今春、鹿児島水産高校専攻科1年情報通信科の(写真左上から)川平日向さん、立石彪さん、二宮泰成さんが警察局に、(写真左下から)原田裕生さん、有村駿一さん、有村光葉さんが航空局に、それぞれ鹿児島水産高校を中退し、就職しました。

6名は在学中に無線従事者の最上級国家資格を取得。同資格を取得すると、国家公務員採用一般職試験(大卒程度試験)を受験せずに無線従事者採用枠での採用試験を受験することができ、昨年秋に就職内定をもらいました。

桜山中学校出身の有村駿一さんは「知識・技術を身に付け、安心して任せてもらえる人材になりたい」と話しました。



「未来をつむぐ幸せの鐘」を設置 ～未来をつむぐ幸せの鐘プロジェクト

3月23日、火之神公園の結の広場に「未来をつむぐ幸せの鐘」が設置されました。

この「未来をつむぐ幸せの鐘」は、市内の若手有志らで結成する「未来をつむぐ幸せの鐘プロジェクト」のメンバーが一昨年から設置計画を進め、市内の飲食店に募金箱を設置したほか、市内企業、個人からも寄付を募るなどして今回の設置に至りました。

鐘の設置場所からは立神岩を臨むことができ、本市の新たな観光スポットになることが期待されます。



スーダンに理学療法士として派遣 ～平成31年度青年海外協力隊

本市市民で理学療法士の岩田真吾さんが青年海外協力隊として4月8日からスーダンに派遣されることになり、3月20日に市役所を訪れ、前田祝成市長に出発の報告を行いました。

スーダンはエジプトの下に位置する国で、理学療法の歴史は浅く、養成機関が設立して間もないことから理学療法士がまだ少ない状況です。岩田さんは、現地の理学療法士の育成や糖尿病などによる切断患者のリハビリ業務などを行う予定です。

岩田さんの新天地でのご活躍をお祈りします。